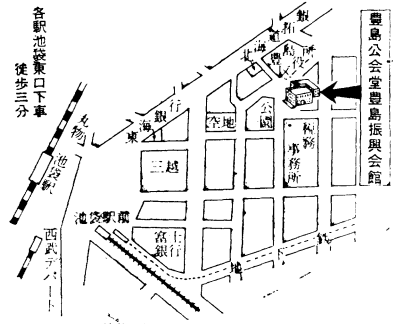


昭和 38 年度夏期講習会開催について

昭和 23 年に制定された水理公式集は昭和 32 年に一部改訂され、このたび 6 年ぶりに大改訂と増補が行なわれることになりました。本年度の夏期講習会はこの改訂された水理公式集を中心につぎのとおり行なわれますので多数ご来聴下さいませようご案内いたします。

会場案内図



1. 日 程：講習会 1963 年 8 月 22 日 (木)、23 日 (金) の両日
見学会 1963 年 8 月 24 日 (土)
2. 場 所：豊島公会堂 (東京都豊島区池袋東 1-19・電 9981-100) 冷房完備
3. 会 費：講習会費 会 員 2 000 円 (教材をふくむ)
 会 員外 3 000 円 (教材をふくむ)
 見学会費 a 班 300 円 (バス代のみ、昼食代は自弁)
 b, c, d, e 各班 500 円 (バス代、昼食代)
4. 申込方法：本号添布の申込用紙に必要事項を記入し会費をそえてお申込み下さい。
5. 教 材：改訂水理公式集 (受講者は無料)、受講されない方には実費で頒布します。体裁 A5 判 500 ページ程度 会 員 1 100 円 (〒 150 円)
 会 員外 1 400 円 (〒 150 円)

6. 講演時間、題目および講師：

第 1 日 (8 月 22 日 (木)) 9.00~17.00)

9.00~ 9.10	会長挨拶	土木学会会長	山本三郎
9.10~ 9.30	委員長挨拶	水理公式集改訂委員会委員長	横田周平
9.30~ 9.45	河川編改訂の要旨	建設省土木研究所河川研究室長	吉川秀夫
9.45~11.10	河川流出	京都大学教授	石原安雄
11.15~12.10	堤防とアースダム	建設省土木研究所千葉支所長	福岡正巳
13.00~13.15	発電水力編改訂の要旨	中央大学教授	林泰造
13.15~14.05	せき、溢流せき等	東北大学教授	岩崎敏夫
14.05~14.55	ゲート、バルブ等	東京大学教授	嶋祐之
15.00~15.50	サージタンク・水撃圧	中央大学教授	林泰造
16.00~17.00	映画 御母衣ダム総集編 (電源開発提供)、その他		

第 2 日 (8 月 23 日 (金)) 9.00~17.00)

9.00~ 9.15	上下水道編改訂の要旨	建設省都市局下水道課建設専門官	久保 赳
9.15~10.15	上 水 道	東京大学教授	徳平 淳
10.20~11.20	下 水 道	建設省都市局下水道課建設専門官	久保 赳
11.20~12.00	水 質 汚 濁	建設省土木研究所下水道研究室長	杉木 昭典
13.00~13.15	港湾・海岸編改訂の要旨	京都大学教授	岩垣 雄一
13.15~14.30	風波の発達と衰定	運輸省港湾技術研究所水工部波浪研究室長	井島 武士
14.35~15.50	高潮・波の打上げ	建設省土木研究所河川部長	細井 正延
15.50~16.00	閉会式・修了証書授与		
16.00~17.00	映画 東京の下水道 (東京都提供)、その他		

7. 終了証書：講習修了者に交付します。

8. 見学会：満員になり次第締切りますから、その場合は悪しからず御了承下さい。

見	学	先	集 合 地 ・ 集 合 時 間	定 員
a 班	運輸省港湾技術研究所・城ヶ島大橋・湘南港 (江ノ島)		久里浜駅 9.30	50 名
b 班	中央大学水理実験室・建設省土木研究所赤羽分所・東京都小台下水処理場		土木学会 9.00	〃
c 班	東京港・東雲水門・辰巳排水ポンプ場・東京瓦斯KK豊洲工場		〃	〃
d 班	電力中央研究所技術研究所・東京都長沢浄水場・建設技術研究所多摩試験室		〃	〃
e 班	建設省土木研究所篠崎水理実験所・中川放水路・東京都金町浄水場		〃	100 名

土木学会・その他行事案内

月 日	行 事	備 考
7月10日(水)	関西支部第2回見学会	7号5 ページ参照
7月12日(土)	第21回関東地区学生諸君のための映画会	7号4 "
7月20日(土)	第6回地震工学研究発表会申込締切	7号4 "
7月31日(水)	第10回海岸工学講演会講演申込締切	7号4 "
7月31日(水)	第8回水理講演会講演申込締切	6号2 "
8月1日(水)	国際水工学コース申込締切	5号4 "
8月22日(木)~24日(土)	昭和38年度夏期講習会(申込締切8月10日)	7号3 "
9月2日(月)~7日(土)	第5回宇宙技術および科学の国際シンポジウム	5号2 "
9月8日(日)	技術士筆記試験(10月15日~22日 口頭試験)	5号5 "
9月8日(日)~10日(火)	第13回応用力学連合講演会	5号4 "
9月10日(月)	昭和38年度土木学会名簿広告申込締切	7号6 "
10月17日(木)~18日(金)	第15回全国都市計画協議会	5号63 "
10月10日(木)~11日(金)	第17回材料試験連合講演会	5号3 "

第21回関東地区学生諸君のための映画会

定例による建設技術フィルムライブラリーと共催の第21回関東地区学生諸君のための映画会を下記のとおり開催いたしますから多数ご来会下さい。一般会員の方のご来会も歓迎いたします(入場無料)。

- 開催日時: 1963年7月12日(第2土曜日) 14.30~16.30
- 会 場: 土木学会会議室(東京都新宿区四谷1丁目, 外濠公園入口)
- 上映映画: ①水道と生活 ②小河内ダム ③下水の科学

第10回海岸工学講演会講演募集

第10回海岸工学講演会は10月下旬、大阪において開催することになりました。講演ご希望の方はつぎの要領により、ふるってご応募下さい。

- 日 程: 1963年10月下旬頃(決定したい会告します)
- 講演申込期日: 1963年7月31日(水)
- 講演原稿締切: 1963年8月15日(木)
- 講演原稿: B5判6ページ(原稿用紙400字詰35枚, 図表, 写真をふくむ, 図面はトレーシングペーパーに必ずスミ入れし, 文字は鉛筆書きにして下さい)以内を厳守して下さい。超過した場合は書きなおしていただきますから, ご注意下さい。
- 申 込 先: 東京都新宿区四谷一丁目 土木学会海岸工学講演会係

第8回水理講演会講演募集

第8回水理講演会は10月下旬、大阪において開催されます(第10回海岸工学講演会の前日, 同一会場において)講演ご希望の方はつぎの要領によりふるってご応募下さい。

- 日 程: 1963年10月下旬(日時, 会場は未定, 決定次第会告にてお知らせします)
- 課 題: a) コンピューターの水理学への応用 b) 実験計測技術の最近の開発(現場実測をふくむ)
c) 洪水(洪水に関連する土砂流送, 河川計画をふくむ)
- 講演申込期日: 1963年7月31日(水)
- 講演集原稿締切: 1963年8月15日(木)
- 講演原稿: 1題目につきオフセット印刷用原稿用紙6枚(1枚は1480字詰, 図表, 写真をふくむ)以内を厳守して下さい。題目申込み次第所定の原稿用紙をお送りします。原稿通りにタイプで打ち直しますので, 図面, 写真は別添として, 原稿中にそう入箇所に必要な余白をあけて下さい。図面および複雑な表はトレーシングペーパーに必ずスミ入れして下さい。
- 申 込 先: 東京都新宿区四谷一丁目 土木学会水理委員会係

第 6 回地震工学研究発表会論文募集

昨年度は 11 月に日本建築学会、土質工学会、地震学会と共催で、地震工学国内シンポジウムとして行ないましたが、本年度は例年通り当学会単独で第 6 回地震工学研究発表会を下記により開催いたしますので、理論、実験、研究、耐震実験実例などふらってご応募下さい。

発表希望者は題目、講演者氏名、勤務先を明記、7 月 20 日（土）までに土木学会にお申込み下さい。

1. 日 時：1963 年 10 月中旬
2. 場 所：土木学会会議室
3. 原稿締切：8 月 31 日（土）
4. 講演前刷：講演内容がわかるように講演概要はオフセット印刷とします。原稿はなるべく研究の考え方を主として書き、原稿の長さは 1 題目 2 ページ以内（図表をふくみ約 2 800 字）を所定の原稿用紙にスミ書きにして下さい。特に超過する場合には超過 2 ページまでは 2 000 円の実費を原稿提出のさい添付願います。原稿の採否は土木学会耐震工学委員会にご一任下さい。なお、講演時間は 15～20 分（質問時間をふくまず）の予定です。

超高層および長大スパン構造に関する研究発表会について （第 10 回橋梁・構造工学研究発表会）

前号にお知らせしたとおり標題の研究発表会を開催いたします。なお、日時および場所については下記のとおり決定いたしましたのでお知らせします。

- 共 催：日本学術会議一橋梁・構造工学研究連絡委員会、土木学会、日本建築学会
 期 日：1963 年 10 月 9 日（水）
 場 所：日本建築学会会議室（東京都中央区銀座西 3 の 1）
 講演内容：超高層建築、サスペンション構造、長大スパン橋梁等についての研究ならびにこれらの風や地震等の外力を受けた場合の問題点に関する研究をふくむ。

関 西 支 部 行 事 案 内

（大阪市天王寺区堀越町 110 番地 天王寺ステーションビル 4 階）
 電、大阪（716）7881 番、内線 336 番 振替口座大阪 82599 番）

第 2 回見学会（琵琶湖大橋下部工事見学会）

1. 期 日：1963 年 7 月 10 日（水）
2. 見 学 先：琵琶湖大橋下部工事
3. 集 合：A 班 7 月 10 日 9 時 20 分までに大阪駅西口
 B 班 7 月 10 日 11 時 10 分までに三条京阪南口
4. 行 程：（観光バス利用）9 時 30 分 大阪駅発—11.10 三条京阪—12.00 浜大津、乗船、昼食—12.50 堅田着～見学（1 時間 30 分）14.20 発—15.00 浜大津—17.30 大阪駅着解散
5. 参 加 費：300 円
6. 定 員：50 名
7. 申込期限：1963 年 6 月 26 日（水）
8. 申込要領：参加希望者は勤務先、連絡先、氏名および集合場所（A 班または B 班）を明記のうえ参加費 300 円（送金は振替口座利用）を添えて 6 月 26 日までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。ただし申込期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申し込んで下さい。
 参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。

昭和 38 年度土木学会名簿発刊について

昭和 38 年度土木学会名簿は本年 11 月中に発行の予定で、目下その準備にかかっております。名簿は会員の皆様とその異動等について密接なご連絡によらなければ完全を期しがたいのであります。日常数多くの異動のご通知に接し遅滞なく整理いたしておりますが、毎月会誌発送ごとに若干の返送があるところを見ると、まだ、異動されたままご連絡がない方があるように見うけられますので完璧を期するため、改めて職名、住所、電話等を本誌挿入のハガキで、9 月 10 日までにご通知いただき完全な名簿を発行いたしたい念願でありますので、何卒ご協力のほどお願い致します。

なお、会員名簿は正会員以上の会員で、38 年度会費完納の方にかぎり無料で贈呈いたします。

土木学会名簿の各種業者案内欄に広告掲載依頼について

従来土木学会名簿の発刊に際し、名簿を座右銘としての使用価値を高めるために、土木に関係のある官公庁の所在地、所属長名および学校、その他各種団体のほかに会員内外が特に知らんとしている建設業、および土木材料、土木機械、橋梁製作、諸工事業者等、業界の全貌をただちに知りうる名鑑案内を集録しましたところ、会員および一般土木技術者より非常に好評を博しております。今回も会員内外より新しい名鑑の発刊を熱望せられておりますので、昭和 38 年度版を発刊することに致しました。

ついでは一層完璧な名鑑案内を掲載できるように念願致しますので、御協力のほど御願ひ申し上げます。すなわちこの欄に貴社の御案内(広告)を御掲載下されば 16 000 人の会員が日常引用に便するのみならず、土木技術界全体が御互いに裨益するところが大きいと確信致します。

何卒以上の趣旨を御賛同下さいまして、後記御参照の上もれなく御申込みを願います。

昭和 38 年度土木学会会員名簿発刊計画

(1) 内 容

1. 学 会 要 項：定款および規則、役員、支部役員、前会長、各委員会委員、土木賞受領者、職員
2. 会 員 名 簿：正会員、学生会員、特別会員、賛助会員、名誉会員(おのおの五十音順)
3. 主 な 職 場 機 関：学校(土木科設置)校名、所在地
官庁(土木関係局部課名)長主任、所在地
公共企業体および地方庁() "
市 () "
関係諸団体
4. 電力株式会社：名称、代表者名、所在地、電話番号
5. コンサルタンツ業： "
6. 建設業者 "
7. 材料業者： "
8. 橋梁、機械器具製作業者： "
9. 諸工事請負業者： "
10. 出版業者： "

(2) 大きさ、体 裁：A5 判、7 横組、600 ページ程度

(3) 頒 布 価 格：学生会員 200 円(送料 150 円)、会員外 500 円(送料 150 円)

(4) 発 行 期 日：1963 年 11 月 20 日(予定)

(5) 申 込 所：土木学会(東京都新宿区四谷 1 丁目、振替東京 16828)

案内欄の掲載申込みについて

- 掲載料：下記見本1間、団体会員 2500 円・会員外 3000 円。
- 申込期限：9 月 10 日まで（掲載料金は原稿と同封にてお申込み下さい）。
- 原稿：1 社で商業種に該当する場合は、両方にお申し込み下さい。1 社で3 間まで用いられます。
- 記入要領：
 - 業種別—ご希望の業種を○で囲んで下さい。
 - 登録種別・社名—大臣、知事の登録別を（建設業のみ記入）、社名は五十音順となるので、ふりがなを付けて下さい。
 - 営業種目—1 間につき約 30 字の割で記入して下さい（電力会社、建設業は不要）。
 - 所在地—本社、支社、営業所等は、1 間につき 3 行の割で記入して下さい。
 - 紹介者—学会で斡旋をご依頼した官公庁職員名（一般には関係なし）。
 - 担当者—お申込先の直接の担当者職氏名を記入して下さい。

∴ この原稿は、そのまま印刷の原稿となりますので、楷書で明瞭にご記入して下さい。
- 名簿進呈：掲載主には、1 間につき名簿1 冊差上げます。

建設業およびコンサルタンツ業案内組見本

登録種別・社名・代表者名	所在地	電 話
3 間の例 建設大臣登録 前田建設工業株式会社 取締役社長 前田又兵衛	本社：東京都千代田区富士見町2の3	東京 (331) 5511 代
	東京支店：同上	東京 (272) 0711 代
	札幌支店：札幌市南15条西13丁目929の8	札幌 (6) 6446 (3) 5895
	北陸支店：富山市桜橋通り1 富山電気ビル内	富山 (2) 5474 6050
	横浜支店：横浜市神奈川区新子安48	横浜 (48) 3283 代 8208
	名古屋支店：名古屋市東陽町5の5	名古屋 (24) 4843 8098
大阪支店：大阪市東区石町5の7 前田産業(株)天神橋ビル内	大阪 (941) 9355 代	
福岡支店：福岡市白金1丁目18街区23号	福岡 (2) 0418	

社名・代表者	営業種目	所在地	電 話
1 間の例 株式会社 関東復建事務所 代表取締役社長 秋山和夫	建設事業の企画調査、設計、測量、施工監理	本社：東京都千代田区大手町2の4	東京 (201) 3919・3428 4577
		分室：東京都文京区表町27 (伝道院ビル)	東京 7261 代 (811) 5825 直

橋梁・試験機製作業案内組見本

社名・代表者	営業種目	所在地	電 話
3 間の例 株式会社 横河橋梁製作所 取締役社長 横河時介	橋梁、鉄骨、鉄塔、鉄管等の鉄構造物の設計、製作、現場施工	本社：東京都港区西芝浦2の2	三田 (451) 8361 代
		工場：東京都港区西芝浦2の1	三田 (451) 8361 代
		“：東京都江東区深川加崎町2	江東 (644) 1281 代
		営業所：大阪市北区梅田町47 (新阪神ビル)	大阪 (361) 3746 代
		“：福岡市上辻の堂町26 (ナショナルビル)	福岡東 (0788) 4134
		“：新潟市西堀前通六番町898 (西堀ビル)	新潟 (2) 8489
“：札幌市大通り西5の11 (大五ビル)	札幌 (3) 1461		
作業所：大宮市日進町2の1607	大宮 (0833) 2767・2816		
1 間の例 株式会社 圓井製作所 代表取締役社長 圓井正俊	コンクリート、セメント、アスファルト、土質非破壊、各材料試験機製造販売	大阪市城東区蒲生町4の401	大阪 (931) 3541 代
		(出張所) 東京都港区芝田村町5の4	東京 (431) 7563